

令和7年度第2回富谷市地域公共交通会議 会議録

開催月日	令和7年7月25日(金)							
開催時刻	10時30分			閉会時刻	11時30分			
開催場所	富谷市役所3階 305会議室							
議 事	(1) 富谷市デマンド型交通の自家用有償旅客運送の更新(案)について (2) 「とみや公共ライドシェア」の実証運行(案)について ※第2号議案については、事務局の説明と委員からの意見聴取のみ							
出席の状況(○出席者・×欠席者)								
1	若生 裕 俊	○	2	鈴木 俊 介	○	3	多 田 康 則	○
4	中 村 力	○	5	岡 野 雅 昭	○	6	佐 藤 政 悦	○
7	佐 藤 新 次	×	8	門 間 とも子	○	9	郷 古 直 子	○
10	中 鉢 勝 利	○	11	関 澤 京 子	○	12	阿 部 政 勝	×
13	佐 藤 雅 之	○	14	高 橋 隆 美	○	15	西 川 和 宏	○
16	菅 原 祐 紀	○	17	遠 藤 秀 一	○	18	田 中 浩 司	○
19	草 野 昭 徳	○						
【代理出席】								

議 事 内 容	
1. 開会	(10:30)
2. 市長あいさつ	(10:31~10:37)
3. 委員紹介	(10:37~10:40)
4. 議事	(10:50~) 議長:市長
(1) 富谷市デマンド型交通の自家用有償旅客運送の更新(案)について [事務局から説明]	
(2) 「とみや公共ライドシェア」の実証運行(案)について [事務局から説明]	
5. 閉会	(11:20)

記録:企画政策課交通政策推進室

令和7年度第2回富谷市地域公共交通会議

日時：令和7年7月25日（金）10:30～11:30

■質疑応答

委員等名	内容（要約）
議長 富谷市長	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型交通は、当時市民から「市民バスをより効果的に運行してほしい」という意見を受けたことが背景としてある。その後、人口が集中している団地には市民バスの運行、農村集落など人口の少ない地域についてはデマンド型交通が導入された。今後より一層の充実を図ってまいりたい。 ・公共ライドシェアの実証運行は、現在関係機関と調整を図っている最中である。今回は決議事項ではなく、現在の状況についてご説明をさせていただきたい。委員の皆様のご意見を含めて、引き続き関係機関と協議を重ね、ご理解をいただいた上で、改めて地域公共交通会議を開催し決議をいただきたく思う。
宮城交通（株） 鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共ライドシェアの運行について本会議で判断する前に、先に業務委託を進めていくというのは順序が違う。本来、関係者と事前に丁寧に協議を重ね、合意形成をしておくべきであった。 ・この地域公共交通会議の軽視に繋がることを懸念するので、今後は丁寧な協議をお願い申し上げたい。 ・ライドシェアが交通ネットワークに何をもちよるかという視点が大切。誰のための何のためのライドシェアなのかを丁寧に協議していく必要があると考える。このライドシェア事業の実施によって、路線バスの課題解消に繋がるのならば協力したい。一方で、事業実施によって路線バスが疲弊していくならば、計画の見直しをお願い申し上げたい。
議長 富谷市長	<ul style="list-style-type: none"> ・運行の可否判断を先にすべきと言われると、補助金の関係もあり難しい。もう業務委託を発注しなければならない。業務委託については、決議をお願いしたい。今回、国への交付申請の期間の関係により業務委託が先行する状況となる。業務委託を進める前に、可否について決議を取った方が良いということではあるのか。
宮城交通（株） 鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本日可否判断をお願いしている訳ではない。具体的な運行計画が未定であり、判断はできない。本来は業務委託発注の前に合意しておくべきと申し上げている。また、確認だが、業務委託については公共交通会議の決議事項ではないのではないか。会議体に権限がないので、市の判断で発注したうえで、丁寧に協議を進めるほかない。ただし、路線バスのお客様にご負担をおかけするような計画であれば、それはご相談させて頂く。
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託発注に会議の決議は不要。鈴木委員の意見は、本来の順番では、関係者の合意形成が先というお話だと思う。こちらもそれは反省しており、今後丁寧に協議をしていきたい。 ・業務委託までに、ライドシェアに対して市民にどれほど需要があるのかを十分に把握し、早い段階で目的を明らかにして皆様にお示しすべきであった。その

委員等名	内 容 (要約)
	<p>点は大変申し訳ないが、交通事業者とのこれまでの協議関係を整理して、委員皆様の意見を聞きながら次回の交通会議には具体的な実証内容をお示ししたいと思う。</p>
<p>議長 若生市長</p>	<p>・今回、ライドシェアの実証は1ヶ月の運行としている。市民アンケートでは、多くの市民が交通課題を第一に掲げているため、課題解決のためにはあらゆる手立てを検討していく必要がある。その手立ての一つとして、今回国が進めているライドシェアの実証を考えている。本格運用とするのではなく、まずは1ヶ月の実証運行をさせていただきたいということで改めてお願い申し上げたい。</p>
<p>杜乃橋一丁目 町内会 郷古委員</p>	<p>・市民バスと宮城交通路線バスのダイヤについて市長へのお手紙にて要望した方のお話を紹介させていただく。意見を寄せた後、再編により乗り換えもスムーズになったことでバスの移動を主としている方がいる。富谷市、宮城交通の職員のご尽力に御礼申し上げたい。ライドシェア実証においては夜間にどれほど利用者がいるのか、市民にどれだけ求められているのか実証してみるのはいいと思う。富谷市も広報・周知に力をいれていくことや、利用者が安心して利用できるよう市のサポートを行っていくことが重要だと思う。ドライバーの顔写真入りの名刺のようなカードを各所に配布するなども一つの案として提案したい。</p>
<p>事務局 吉田室長</p>	<p>・利用者の安心感をサポートすることは大変重要な視点であり、いただいた意見を参考とさせていただき進めてまいりたい。</p>
<p>鷹乃杜町内会 郷古委員</p>	<p>・ライドシェアの運行は以前から望んでいた。必要としている人と、関わりたい人が多くいる。町内では、お互いに声をかけあって乗り合いで病院に行くようなケースがある。タクシーを呼ぶには迷うこともあるが、気軽に市民同士で助け合える内容であるため、実証として一度やってみていただきたいというのが率直な意見。</p>
<p>事務局 吉田室長</p>	<p>・いただいたご意見を参考に、住民の方々が安心して利用できる体制を整えていきたい。</p>
<p>大和タクシー 中村委員</p>	<p>・18時から24時として案が出ているが、大和タクシーは22時までは運行している。運行時間が重複する時間がある上に、運賃はタクシー料金の8割と、タクシーよりも安価で利用できることから、うちとしてはなかなか厳しい。</p>
<p>事務局 吉田室長</p>	<p>・運賃は、現段階では国のガイドラインを基にタクシー料金の8割とお示ししている。今後、皆様から利用可能な金額の範囲についてご意見をいただきながら協議を重ねてまいりたい。</p>
<p>東北運輸支局 関澤委員</p>	<p>・今回、最終決定まで皆様から意見をいただいて、調整を重ねながら実証に向けて進めていくということであったが、18時から24時までを案として出されているということは、利用者像を想定されていると思うので、事務局から丁寧にご説明をいただきたい。また、委員から運転手に対する安心感について意見があった。募集は何回行うのか、運転手への教育・指導体制など、具体的に実施体制を整えていただく必要がある。</p>

委員等名	内 容 (要約)
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者像について。一つは、泉中央駅から宮城交通バスを利用したあと、自宅までの徒歩での移動に負担を感じている方を想定している。ライドシェアを使って近くの大型店などの施設から自宅までの移動を可能とする。 ・ドライバーの募集について。登録台数は多ければ多いほど良いと思っている。5～10台を確保することを目標とし、事前の周知に力を入れて進めてまいりたいと思う。
社会福祉協議会 草野会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までバス、タクシー中心であった公共交通に参入することとなるため、交通事業者の経営面は考えていく必要がある。一方的な進め方ではなく、市民と既存の交通事業者の双方の意見を取り入れて進めていくと良い。
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、内容の精査、制度設計させていただく上でも業務委託が先行してしまう形となり大変申し訳ないが、ご意見の通り進めさせていただきたい。